**民間ネット調査「情報発信に関する調査（令和７年２月実施）」の結果について**

【調査目的】

大阪市では、市政情報を確実にお届けするため、広報紙やホームページ（以下「ＨＰ」という）など、さまざまな媒体を活用して情報を発信しています。

また、新聞やテレビなどのマスメディアを通じて市政情報が報道されるよう、市長記者会見の実施など、報道機関に対しても積極的に情報提供を行っています。

本調査は、これらの情報発信に関する取組について、市民の皆さまのご意見をお聞きし、今後の参考とすることを目的としています。

【調査期間】

　令和７年２月19日（水）～令和７年２月22日（土）

【調査方法】

　インターネットを利用したウェブアンケート調査

【調査対象者】

　・民間調査会社に登録するインターネットモニターのうち、市内に居住する方

　・年代別（18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上）各100名、計600名

【調査票】

　調査票（データ添付）

【回答者数と内訳】

　・回答者数　600名（男性300名、女性300名）

　・回答率　100％

　・回答者の内訳



【留意点】

※質問文及び選択肢などの長い文章については、簡略化して表示している場合があります。

※数値（％）は、各実数を元に比率表示し、小数第２位を四捨五入しています。

したがって、内訳の合計が全体の計に一致しないことがあります。

また、複数回答の質問については、回答者数を母数に比率表示しています。

※本アンケートの回答者は民間調査会社に登録するインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「市民全体の縮図」ではありません。

そのため、調査結果は、「市民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまります。

【結果の概要】

**情報発信全般について**

**問１ 市政情報を得るため、普段よく利用する媒体・メディアは何ですか。（３つまで回答可）**

➤全体の傾向　　　　・「区の広報紙」と回答された方が40.3％と最も高く、次いで「大阪市のHP」と回答された方が

28.0％となっている。

一方、「市政情報を必要としていない」と回答された方は21.2％となっている。

➤年代別の傾向　　・「区の広報紙」と回答された方の割合は、年代が高くなるほど高い傾向にある。

一方、「市政情報を必要としていない」と回答された方の割合は、年代が低くなるほど高い傾向にある。

■全体

 

■年代別



**問２ 問１で「市政情報を必要としていない」以外をお選びになった方にお尋ねします。**

**これらの媒体・メディアを通じて、必要な市政情報が得られていると思われますか。**

➤全体の傾向　　　・「得られている」と回答された方は、「十分」「ある程度」と合わせて64.5％であり、「得られてい

ない」と回答された方は、「あまり」「全く」と合わせて35.6％となっている。

➤属性別の傾向 ・年代別では、「得られている」と思う方の割合は60歳代で69.5％と最も高く、次いで40歳代で

67.1％となっており、18～29歳以外は６割を超えている。

・媒体別では、デジタルサイネージ、区の広報紙、生活ガイドブック「くらしの便利帳」が75％を超えており、その他もX、YouTube、大判ポスター以外で「得られている」と思う方の割合が６割を超えている。

■全体



■年代別



■媒体別



■全体

**問３ 特に重点的に知っていただきたい取組を、さまざまな媒体を活用してお知らせしています。**

**下記の参考にあるような取組に関する情報に接したことがありますか。**

**【参考】特に重点的にお知らせした取組**

1. **2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の推進**
2. **市民サービスの充実（０～２歳の保育料無償化、習い事・塾代助成、児童虐待防止対策、特別養護老人ホームの整備、認知症高齢者支援など）**
3. **大阪の成長の実現（なんば駅周辺の空間再編、うめきた２期区域のまちづくり、なにわ筋線や淀川左岸線延伸部の整備、災害救助物資の備蓄、堤防等の耐震対策など）**

➤全体の傾向　　　　・「接したことがある」と回答された方は、「内容についても十分理解できている」「内容についてもある程度理解できている」「内容については理解できていない」と合わせて53.7％と５割を超えており、「接したことはない」と回答された方は46.3％となっている。

➤年代別の傾向　　・「接したことがある」と回答された方の割合は、「内容についても十分理解できている」「内容についてもある程度理解できている」「内容については理解できていない」と合わせて60歳以上で６割を超えている。





■年代別



**広報紙について**

**問４ 区の広報紙を直近の１年間で、どの程度読まれていますか。**

➤全体の傾向　　　　・「読んでいる」と回答された方は、「毎月必ず」「ほとんど毎月」「ときどき」と合わせて55.1％であり、５割を超える方が定期的に読んでいると回答している。

➤年代別の傾向　　・「読んでいる」と回答された方の割合は、「毎月必ず」「ほとんど毎月」「ときどき」と合わせて70歳以上では８割を超えているが、29歳以下では４割を下回っており、年代による違いが見られる。

■全体

 

■年代別



■全体

**問５ 問４で「過去に読んだことがあるが、今は読んでいない」「全く読んでいない」のいずれかをお選びになっ**

**た方にお尋ねします。**

**区の広報紙を読まない、あるいは読んだことはあるが継続して読んでいないのは、主にどのような理由**

**によるものですか。（３つまで回答可）**

➤全体の傾向 ・「興味・関心が無いから」と回答された方が35.8％と最も高く、次いで「自分に必要が無い（と思う）から」と回答された方が23.9％となっている。

➤年代別の傾向　　・「興味・関心が無いから」と回答された方は、60歳代で47.6％と最も高く、次いで50歳代で43.3％となっている。

 

■年代別



【文章・表現の分かりやすさ】

**問６ 問４で「毎月必ず読んでいる」「ほとんど毎月読んでいる」「ときどき読んでいる」のいずれかをお選びに**

**なった方にお尋ねします。**

**区の広報紙に掲載している市全体に関する情報の面（24区共通情報で、「大阪市民のみなさんへ」と**

**いうタイトルを付けています）においては、どなたにもお読みいただけるよう平易な表現を使用し、重要なお知らせは特に記事スペースを大きく使って詳しく説明し、市民の皆さんに分かりやすい市政情報の発信をめざしています。**

**この「大阪市民のみなさんへ」での情報発信について、あなたはどう思われますか。**

➤全体の傾向 ・【文章・表現の分かりやすさ】について「よい」と回答された方が93.7％、【ページの見やすさ】について「よい」と回答された方が91.5％、【色づかい】について「よい」と回答された方が90.0％、【写真・イラストの使い方】について「よい」と回答された方が88.5％、【文字の大きさ】について「そのままでよい」と回答された方が85.5％、【情報の量】について「そのままでよい」と回答された方が84.3％と、全てのカテゴリーにおいて肯定的な回答が多くなっている。

➤年代別の傾向　　・すべての年代において肯定的な回答が多くなっているが、29歳以下は他の年代にくらべると若干低い傾向にある。

■全体



■年代別



【ページの見やすさ】

■全体



■年代別



【色づかい】

■全体



■年代別



【写真・イラストの使い方】

■全体



■年代別



【文字の大きさ】

■全体



■年代別



【情報の量】

■全体



■年代別



**HPについて**

**問７ 大阪市のＨＰを直近の１年間で、どの程度利用しましたか。**

➤全体の傾向 ・「よく利用した」、「たまに利用した」と回答された方は合わせて52.5％、「全く利用したことがない」と回答された方は47.5％となっている。

➤年代別の傾向　　・「よく利用した」、「たまに利用した」と回答された方は、40歳以上で５割を超えている。

■全体



■【年代別】



■全体

**問８ 問７で「よく利用した」「たまに利用した」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。**

**大阪市のＨＰを利用した際、主にどのような機器を使いましたか。（複数回答可）**

➤全体の傾向 ・「自宅のパソコン」と回答された方が51.1％と最も高く、次いで「スマートフォン」と回答された方が47.9％となっている。

➤年代別の傾向　　・「自宅のパソコン」と回答された方の割合は、70歳以上で８割、60歳代では７割を超えているが、30歳代以下では４割を下回っている。

一方、「スマートフォン」と回答された方の割合は、40歳代で８割、30歳代で６割を超えているが、70歳以上では３割を下回っている。

 

■年代別



【ページの見やすさ】

**問９ 問７で「よく利用した」「たまに利用した」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。**

**大阪市のＨＰを利用した際、どのような印象を受けましたか。**

➤全体の傾向 ・【ページの見やすさ】について「よい」と回答された方が86.3％、【色づかい】について「よい」と回答された方が87.0％、【写真・イラストの使い方】について「よい」と回答された方が86.7％、【情報の量】について「そのままでよい」と回答された方が73.7％と、全てのカテゴリーについて肯定的な回答が多くなっている。

➤年代別の傾向　　　・すべての年代において肯定的な回答が多いが、【情報の量】については、39歳以下で「多すぎる」と回答した割合が約３割で、他の年代と比べ多くなっている。

■全体



■年代別

****

【色づかい】

■全体



■年代別

****

【写真・イラストの使い方】

■全体



■年代別

****

【情報の量】

■全体



■年代別



■全体

**問10 問７で「よく利用した」「たまに利用した」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。**

**大阪市のＨＰを利用した際、目的の情報をどのように探されましたか。**

➤全体の傾向 ・大阪市のHPを使って探した方は77.8％で、検索エンジンを使用し目的の情報を直接検索した方は21.6％となっている。

➤年代別の傾向　　・大阪市のHPを使って探した方は70歳以上で86.3％と最も高く、次いで30歳代で83.0％となっている。





■年代別



■全体

**問11 問７で「よく利用した」「たまに利用した」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。**

**目的の情報にたどりつけましたか。**

➤全体の傾向 ・「スムーズに（問題なく）たどりつけた」と回答された方が44.8％、「たどりつけたが、検索に時間を要した」と回答された方が41.6％と、合わせて８割を超えている。

➤年代別の傾向　　・「スムーズに（問題なく）たどりつけた」、「たどりつけたが、検索に時間を要した」と回答された方の割合が29歳以下で７割程度、それ以外の年代では８割を超えている。





■年代別



■全体

**問12 問11で「たどりつけたが、検索に時間を要した」「目的の情報ではなく、類似情報にたどりついた」「全**

**くたどりつけず、検索をあきらめた」のいずれかをお選びになった方にお尋ねします。**

**目的の情報が見つけにくかったのは、どのような理由によるものですか。**

➤全体の傾向　　　・「「メニューから選択」又は「検索」した結果、自分の探している情報（ページ）以外に必要がない情報（ページ）も多く表示されるためわかりにくい」と回答された方が46.6％と最も高く、次いで「選んでいくメニューの名称から、自分の探している情報（ページ）であるかどうか分かりにくい」と回答された方が27.6％となっている。

➤年代別の傾向　　・「「メニューから選択」又は、「検索」した結果、自分の探している情報（ページ）以外に必要がない情報（ページ）も多く表示されるため分かりにくい」と回答された方は、29歳以下で55.2％と最も高くなっている。





■年代別



**SNSについて**

**問13** **大阪市広報X（旧Twitter）【アカウント名：@osakacity\_koho】をご覧になったことはありますか。**

➤全体の傾向 ・「見ている」、「見たことがある」と回答された方は合わせて19.7％であり、「見たことはない」、「知らなかった」と回答された方は合わせて80.3％となっている。

➤年代別の傾向　　・「見ている」、「見たことがある」と回答された方の割合は、50歳以上で２割を下回っている。

■全体





■年代別



■全体

**問14 より広く皆さんに大阪市広報X（旧Twitter）を見ていただくために、あなたがあればいいなと思う情報は何ですか。**

➤全体の傾向 ・「生活に密着した暮らしのお役立ち情報」と回答された方が19.8％と最も高く、次いで「イベント情報」と回答された方が16.5％となっている。

一方、「分からない／特にない」と回答された方は43.8％となっている。

➤年代別の傾向　　・「生活に密着した暮らしのお役立ち情報」と回答された方の割合は、70歳以上では32.0％となっており、次いで40歳代で25.0％となっている。

一方、「分からない／特にない」と回答された方の割合は、すべての年代において４割を超えている。

 

■年代別



■全体

**問15 大阪市LINE公式アカウント【アカウント名@osakacity】をご存じですか。**

➤全体の傾向 ・「友だち登録している」、「知っている」と回答された方は合わせて25.0％であり、「知らない」と回答された方は75.0％となっている。

➤年代別の傾向　　・「友だち登録している」、「知っている」と回答された方は、30歳代で33.0％と最も高く、50歳代が19.0％と最も低くなっている。



■年代別



■全体

**問16 あなたは、大阪市LINE公式アカウントを何で知りましたか。（複数選択可）**

➤全体の傾向　　　 ・「大阪市のHP」と回答された方は38.0％と最も高く、次いで「区の広報紙」と回答された方が37.3％となっている。

➤年代別の傾向 ・「大阪市のHP」と回答された方は、70歳以上で47.6％と最も高く、次いで30歳代で42.4％となっている。

 

■年代別





**問17 大阪市では、以下のカテゴリーとリッチメニューで情報を発信しています。**

**今後、大阪市LINE公式アカウントを友だち登録したいと思いますか。**

➤全体の傾向 ・「思う」と回答された方が67.1％、「思わない」と回答された方は32.9％となっている。

➤年代別の傾向　　・「思う」と回答された方は、30歳代で81.1％と最も高く、70歳以上で55.1％と最も低くなっている。

■全体



■年代別



■全体

**問18 大阪市LINE公式アカウントで、個人の属性情報（居住地、年齢、お子さんの年齢など）に合わせた情報発信があればいいと思いますか。**

➤全体の傾向 ・「あればいいと思う」と回答された方は合わせて62.7％であり、「必要としない」と回答された方は37.3％となっている。

➤年代別の傾向　　・「あればいいと思う」「内容によってはあればいいと思う」と回答された方は、29歳以下を除き６割を超えている。



■年代別



**動画について**

**問19 大阪市広報YouTube【アカウント名：大阪市広報】を見たことはありますか。**

➤全体の傾向 ・「見ている」、「見たことがある」と回答された方は合わせて20.8％であり、「見たことはない」、「知らなかった」と回答された方は合わせて79.2％となっている。

➤年代別の傾向　　・全年代で「知らなかった」と回答された割合が最も高くなっている。

■全体





■年代別



■全体

**問20 より広く皆さんに大阪市広報YouTubeを見ていただくために、あなたがあればいいなと思う動画は何ですか。**

➤全体の傾向 ・「イベントやまちの魅力を紹介する動画」と回答された方は15.3％と最も高く、次いで「子育て・就職・介護など生活に密着したくらしの情報を紹介する動画」と回答された方が14.7％となっている。

一方、「わからない／特にない」と回答された方は48.0％となっている。

➤年代別の傾向　　・「イベントやまちの魅力を紹介する動画」と回答された方は、70歳以上で21.0％と最も高く、30歳代で12.0％と最も低くなっている。

一方、「分からない／特にない」と回答された方の割合は全年代で５割程度となっている。





■年代別



■全体

**問21 YouTubeやデジタルサイネージで市政情報を見る場合、どれくらいの時間が適切だと思いますか。**

➤全体の傾向 ・「30秒程度」と回答された方が33.3％と最も高く、次いで「１分程度」と回答された方が28.8％となっている。

➤年代別の傾向　　・「30秒程度」と回答された方は、70歳以上で39.0％と最も高く、40歳代で28.0％と最も低くなっている。

 

■年代別

****

**＜災害時の情報収集について＞**

**問22****大阪市では、地震や台風などの災害時において、大阪市防災アプリ、防災行政無線（屋外スピーカー）、大阪市・区ＨＰ、X（旧Twitter）、大阪市LINE公式アカウント、広報車、テレビ、ラジオなどさまざまな手段により災害情報をお知らせしています。**

**あなたは、これらの情報に接したことがありますか。**

➤全体の傾向 ・「接したことがある」と回答された方が35.5％、「接したことはない」と回答された方が64.5％となっている。

➤年代別の傾向　　・「接したことがある」と回答された方は70歳以上で41.0％と最も高く、その他の年代で３～４割程度となっている。

■全体



■年代別



**問23 災害時において情報を得るため、より充実してほしい媒体・メディアは何ですか。（３つまで回答可）**

➤全体の傾向　　　　・「大阪市防災アプリ」と回答された方は38.2％と最も高く、次いで「防災情報メール」と回答された方は30.2％となっている。

➤年代別の傾向　　・「大阪市防災アプリ」と回答された方の割合は、40歳以上で４割程度となっているが、39歳以下では２～３割となっている。

また、「大阪市・区HP」と回答された方の割合は、年代による大きな違いはみられない。

「テレビ・ラジオなどのマスメディア」と回答された方の割合は、29歳以下で15％、30～60歳代では３割程度となっているが、一方70歳以上は42.0％と最も高くなっている。

■全体

 

■年代別





**問24 災害時において、より充実してほしい情報は何ですか。（３つまで回答可）**

➤全体の傾向　　　　・「停電状況などライフラインに関する情報」と回答された方が52.3％と最も高く、次いで「避難

所開設に関する情報」と回答された方が49.7％となっている。

➤年代別の傾向　　・「停電状況などライフラインに関する情報」と回答された方の割合は50歳以上で６割を超えて

いるが、29歳以下では３割程度となっている。

■全体

 

■年代別

